

生活科学部の沿革

1935(大正10)年	大阪市西区高等実修女学校 創立
1938(大正13)年	大阪市立高等西華女学校と改称
1941(昭和16)年	大阪市立西華高等女学校と改称／家政高等科を専攻科と改称
1947(昭和22)年	大阪市立女子専門学校 設置／専攻科廃止
1949(昭和24)年	学制改革により大阪市立大学家政学部 食物学、被服学、住居学、児童学、社会福祉学の各専攻を置く
1968(昭和43)年	家政学科を食物学科・被服学科・住居学科・児童学科・社会福祉学に分離増設
1975(昭和50)年	家政学部を生活科学部と改称
1990(平成2)年	5学科を3学科に再編成 (食品栄養科学科・生活環境学科・人間福祉学科)
2000(平成12)年	生活環境学科を居住環境学科に名称変更
2006(平成18)年	公立大学法人大阪市立大学に法人化

【参考】

●お茶の水女子大学 生活科学部

1949(昭和24)年5月	お茶の水女子大学(文学部・理家政学部の2学部) 新設
1950(昭和25)年4月	文教育学部・理学部・家政学部の3学部となる
1992(平成4)年10月	生活科学部を設置、家政学部を廃止

●奈良女子大学 生活環境学部

1914(大正3)年3月	予科を廃止し、文科、理科、家事科(第一部、第二部)の3学科に改組
1949(昭和24)年5月	奈良女子大学 設置／理家政学部(数学科、物理学科、化学科、生物学科、家政学科)
1953(昭和28)年8月	理家政学部を理学部及び家政学部(食物学科、被服学科、住居保健学科)に分離
1993(平成5)年10月	家政学部を生活環境学部へ改組

生活科学研究科の沿革

- 1953(昭和28)年 大学院家政学研究科修士課程 設置／食物・栄養学専攻を置く
1956(昭和31)年 修士課程被服学専攻 増設
1959(昭和34)年 修士課程社会福祉学専攻 増設
1964(昭和39)年 修士課程児童学専攻 増設
1969(昭和44)年 修士課程住居学専攻 増設
1975(昭和50)年 大学院生活科学研究科博士課程 設置 (家政学研究科は1977年まで)
栄養・保健学、生活環境学、生活福祉学の各専攻を置く
1991(平成3)年 専攻名称変更、食品栄養科学専攻、生活環境学専攻、人間福祉学専攻
2000(平成12)年月 3専攻を統合・再編し、生活科学専攻
7履修コース(食・健康科学コース、居住環境学コース、総合福祉科学コース、臨床心理学コース、長寿社会食生活学コース、居住福祉工学コース、長寿社会福祉科学コース)
2006(平成18)年 公立大学法人大阪市立大学に法人化
2010(平成22)年 生活科学共同研究センター 創設
2011(平成23)年 3講座4履修コースに再編 (食・健康科学講座、居住環境学講座、総合福祉・心理臨床科学講座)／4履修コース(食・健康科学コース、居住環境学コース、総合福祉科学コース、臨床心理学コース)

【参 考】

●お茶の水女子大学 人間文化創成科学研究科

- 1954(昭和29)年 家政学部に家政学専攻科を設置
1963(昭和38)年 大学院家政学研究科(修士課程・3専攻)を設置 家政学専攻科を廃止
1976(昭和51)年 大学院人間文化研究科(博士課程・2専攻)を設置

●奈良女子大学 人間文化研究科

- 1954(昭和29)年 家政学専攻科 設置
1964(昭和39)年 大学院家政学研究科(修士課程) 設置 家政学専攻科 廃止
1981(昭和56)年 大学院人間文化研究科(博士課程)設置
1998(平成10)年 大学院人間文化研究科を区分制博士課程に改組／大学院修士課程の3研究科(文学研究科、理学研究科、家政学研究科)を大学院人間文化研究科博士前期課程として統合／博士後期課程に複合領域科学専攻を増設
(以下、省略)